

令和3（2021）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第2回 実施報告

実施日：令和3（2021）年 8月 26日（木）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第2回は、新型コロナウイルス感染症対策として当初の予定を変更し、Zoom を活用したオンラインで行いました。

前半は「男女共同参画社会ってなに？」と題しての講話、後半は「グループ研究の研究計画づくり」を行いました。

講話「男女共同参画ってなに？」

とちぎ男女共同参画センター 所長補佐兼事業推進課長 大根田 知子 氏

国際比較や日本の男女共同参画推進のあゆみ、日本の男女共同参画の現状や課題、今後の方向性について御説明いただきました。また、固定的な性別役割分担意識の見直しにふれ、女性活躍に向けたポイントを、ワークライフバランスの視点から丁寧に御教示いただきました。

さらに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を一層推進するために令和2年12月に策定された「とちぎ男女共同参画プラン〔5期計画〕」にふれ、男女共同参画社会を実現するための本県の取組について御説明いただきました。

受講者の皆様には、男女共同参画の視点を大切にされた地域活動の推進に向けて、自身の活動をよりよいものにしていく礎にさせていただきたいと思います。

グループ研究「研究計画の立案」

研修後半は、グループ研究を行いました。グループの役割分担を決め、研究テーマの設定と研究計画の作成などを行いました。受講者は、限られた時間とオンラインという条件の中でしたが、積極的に意見を出し合い、班長を中心に研究内容や研究の分担などを決めて、熱心に研究計画を作成しました。

A班は「まちづくり（ボランティア・高齢化を含む）」という大テーマのもと、「居場所づくり・つながりづくり」について、それぞれの活動分野を中心に調査し、グループとして共通部分を見出していくことに決まりました。

B班は「男女共同参画社会」という大テーマのもと、「男女共同参画社会におけるリーダーの適性」について国際的な視点と県や地域的な視点で調査し、それらを今後の自身の活動につなげていくことに決まりました。

C班は「ボランティア活動」という大テーマのもと、「子育てに関する現状」を調査し、ボランティアを受ける側と行う側のギャップを知ることで、今後の自身の活動のブラッシュアップにつなげていくことに決まりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今後個人で活動する部分が多くなります。今回のグループ協議で、普段から課題であると感じていること、知りたいと思っていることなどを挙げ、集約していくことで、研究の方向性を確認しました。グループ内でメンバーそれぞれの視点も享受しながら、研究を進めていただきたいと思います。



<受講者の感想から>

- 現状をもっとしっかり把握することで、男女共同参画社会を推進できるのではないかと感じました。
- アンコンシャス・バイアスについて深く考えるきっかけになり、自分を見つめ直す機会となりました。
- グループ研究での方向性も決まり、より意欲がわきました。情報収集のほうも進めていきます。
- グループ研究を通して、受講者の皆さんと有意義な時間を過ごしたいと思います。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp